

北床宗太郎 violin  
REIKO violin  
関根彰良 guitar

※マスクの着用を必ずお願いいたします。  
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 **03月24日 (水)**

開場 18:30 night live

開演 19:00

(90分1ステージ小休止有) (1drink=600円~)

MC=3500円 +2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 関根彰良

千葉県生まれ。幼少の頃よりクラシックピアノを始める。12歳でロックに興味を持ちギターを手にする。東京大学入学後ジャズに出会い、同大のジャズ研究会に所属しながらプロとしての演奏活動を開始する。文学部美学芸術学専攻卒業。クラシックギターを井上學、フラメンコギターを山崎まさし各氏に師事。2009年夏、Anat Cohen(cl, sax)の日本ツアーに参加。2012年スペインに滞在。フラメンコギターを Chano Carrasco, Manuel Parrilla, Ramón Amador 各氏に師事。ジャズを中心としながら様々なスタイルをカバーする希少なギタリスト。全国各地や海外でのライブ演奏、レコーディング等で幅広く活動中。これまでに”FUZZ JAZZ”、”SOLITARY PHASE”、”WET & DRY”の3枚のアルバムをリリースしている。2020年、4枚目のアルバム”Solitary Moments”をリリース。



## 北床宗太郎

1980年生まれ、三重県出身。3歳からピアノ、5歳からバイオリンを始めクラシックを学ぶ。法政大学入学後、ジャズ研究会に入部しジャズバイオリンに出会う。2005年横浜ジャズプロムナードにて「ベストプレイヤー賞」含む3部門受賞し、本格的にプロ活動を開始。2013年1stCD「Night & Day」2017年2ndCD「C'est si bon」をリリースしジャズスタンダードをはじめ、童謡のジャズアレンジや、ライブで人気のオリジナル曲を収録し好評を得ている。ライブハウスの演奏だけでなくホテル、ホールでのコンサート、クルージングや企業の発表会、ジャズフェスティバルなどのイベントにも出演。海外ミュージシャンとの交流も重ねており、国際的に活躍するジャズバイオリニストから「プレイヤーとしてだけでなく、教育者としても日本で最も重要なジャズバイオリニストの1人」(クリスチャン・ハウス / アメリカ)「バイオリニストとして稀なジャズ特有のタイミングを極めた逸材」(ティム・クリップハウス / オランダ)と高く評価をされている。



## REIKO

大阪出身。相愛大学音楽学部出身。ワルシャワシヨパン音楽院マスターコース取得。祖母はピアニスト、母はチェロを嗜む音楽一家で育ち、3歳よりピアノ、4歳よりヴァイオリンを始める。大学在学中より演奏活動開始。優雅で気品溢れてながらも情熱的なパフォーマンスで好評を博している。クラシックに源流を持ち、ジャズを基軸にラテン、ポップス、スパニッシュ、ジブシージャズなど、様々なジャンルのエッセンスを吸収し、ジャンルの壁を超えたボーダレスなバイオリニスト。金沢ジャズコンペティションではグランプリ受賞。BS NHK につぼんの歌ではバックバンドとして出演し音楽教室講師としても後進の指導に精力的に活動中。